

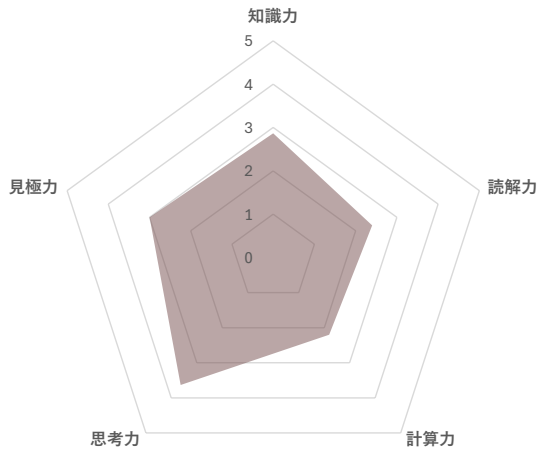
## 総合分析

試験区分 一般

制限時間 60分(理科2科120分)

大問数 全3問

## 合格に要する能力(5段階)



## 合格に要する能力(5段階)

知識力	2.9	物質, 反応, 解法の知識
読解力	2.4	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	2.2	手際よく正確に計算できるか
思考力	3.6	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	3.0	解きやすい問題を選択する力

## 出題分野

理論	42%
無機	19%
有機	40%

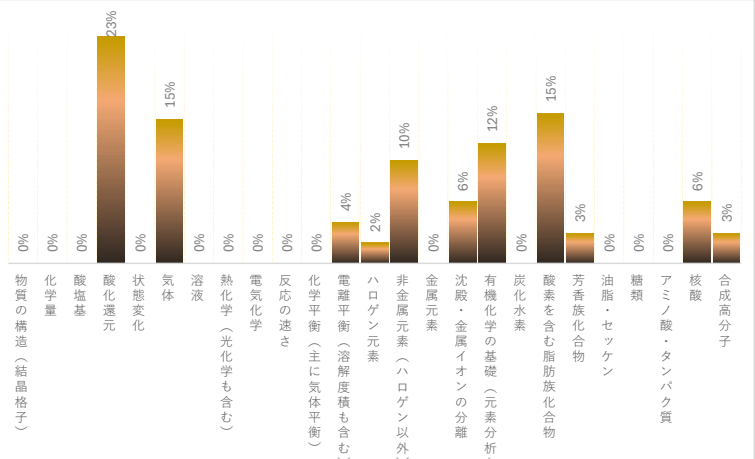
## 本年度 解答形式

論述 100%

## 本年度出題テーマ一覧

第1問	核酸, アンモニア, COD
第2問	構造異性体, 元素分析, ジカルボン酸
第3問	気体, 気体生成反応, 接触法

## 本年度 出題詳細分類



特殊問題の有無

数値計算あり

グラフなし

正誤問題なし

理由記述あり

図表あり

特記事項

特になし

## 総合評価

難度	2.8	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率(予想)	77%
分量	53分	完答に要する時間(制限時間は60分)	標準	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校化学の学習でよい。

入試から見る  
大学が求める学生像

幅広い知識、高難易度の頻出問題の演習経験は必須。その上で全分野の知識を総合して思考できる人を大学は求めていると考えられる。